

「教育用語辞典」第22回です。今回は穴埋め問題です。①から⑥にはどんな言葉が入るでしょうか。職員室でお隣の先生とお楽しみください。

## 【言語活動の充実】

〔げんごかつどうのじゅうじつ〕 レベル★

平成二十三年度より完全実施されている学習指導要領において、充実すべき重要事項の第一として挙げられているもの。国語科をはじめとする各教科で、子どもの思考力、①、表現力等を育む観点から、言語活動を充実することが求められている。また、言語活動は②の基盤であるだけでなく、感性・情緒の基盤であるとされている。

## 【ワークシヨップ】

〔わーくしよっぷ〕 レベル★★★

講義などのように、指導者が一方的に知識を伝達するようなスタイルではなく、参加者が自ら③したり、知識やアイデアを出し合ったりして、共同で何かを創り出したり、学び合ったり、発見したりするような学習形態のこと。参加体験型学習などと呼ばれることもある。

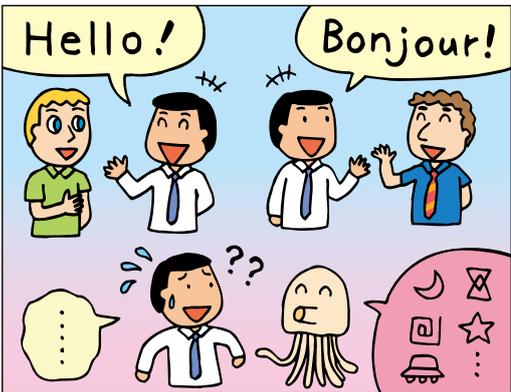
導入（準備）↓展開（実施）↓ふりかえり④という流れでワークシヨップを行うことにより、ワークシヨップを非日常の体験として位置づけるのではなく、日常との連続性の中で子どもたちに学ばせることができる。

## 【カリキュラム・マネジメント】

〔かりきゅらむ・まねじめんと〕

レベル★★★★

学校教育目標を具現化するために、子どもや地域の実態を踏まえて構成した教育課程を、計画・⑤・評価・改善という一連のサイクルによって、計画的、組織的に動態化させること。現在のカリキュラムの有効性の⑥を基にすると、ゼロから計画を作るよりも有効である。「カリキュラム」を実効化するために、人物・財・時間・情報、教職員の意識・組織の文化などの条件整備も重要となる。



### 【解答】

- ① 判断力
- ② 知的活動
- ③ 体験
- ④ 定着
- ⑤ 実施
- ⑥ 評価